

平成 29 年度 第 1 回浦臼町総合教育会議会議録

招 集 期 日	平成 29 年 12 月 21 日	場 所	農村センター 第三研修室
開 閉 の 時 間	午後 2 時 00 分 開会 ・ 午後 3 時 45 分 閉会		
委 員 状 況 出 席 状 況	出席委員	平松職務代理、大石委員、美濃委員	
	欠席委員	島委員	
町 長 の 出 席 状 況	斉藤町長		
教 育 長 の 出 席 状 況	浅岡教育長		
職 員 の 出 席 状 況	武田次長、奥山副園長、上嶋主幹、畑山社会教育係長、吉村学務係長		
武田次長	<p>それではただいまより、平成29年度第1回浦臼町総合教育会議を開催いたします。開催にあたりまして、斉藤町長よりご挨拶をお願いします。</p>		
斉藤町長	<p>皆さんこんにちは。本日は平成29年度第1回の総合教育会議ということで、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。日頃皆様には浦臼の教育行政に色々ご尽力いただいております。この場を借りて、お礼申し上げます。</p> <p>皆さんもそうだと思いますが、除雪で体が痛いのではないのでしょうか。この12月では、降雪量が記録的などころまでできていまして、今日も役場前を朝から排雪していますが、午後になってもまだ終わっていない状況であります。今年は、雪や寒さが本格的になるのかなと心配をしているところです。</p> <p>さて、本年の浦臼町教育行政の中では、いじめ問題等もなく平穏にきているのかなと思っております。全国的にみると教育環境の変化が非常に激しくて私達も勉強が追いついて行かない位の変化となっております。</p> <p>学習指導要領も今年の3月に告示をされて既にスタートしている状況です。一昨日の新聞には、働き方改革で色々な職種の残業が多いということで、学校の先生の残業時間も多く残業を減らしていくために、部外者を学校に入れて、先生方の業務をやってもらおうという話が出てきているようです。都会はともかく地方でそのような事ができるのかどうか非常に難しいかなと思っております。ただ、未来を担う子供たちをしっかりと育成してもらおうという大きな目標がありますので今後とも皆さん一緒に力を合わせてやっていきたいと思っております。</p> <p>今日の会議、色々な意見を皆さんから出いただきながら、この町にふさわしい教育行政の構築をしていく、推進をしていく会議と思っておりますので、限られた時間ではございますが、忌憚のない意見を出していただければと思っております。よろしくお願いたします。</p>		
武田次長	<p>続きまして議事に入っていきたいと思っております。</p> <p>浦臼町の教育の現状と課題についてということで、ALTの配置について、新たな教育施策についてを議事に、懇談を進めさせていただきたいと思っております。初めにALTの配置についてということで教育長から説明をお願いします。</p>		

浅岡教育長

こんにちは、今年も残すところ2週間を切ってしまいました。  
年度初めに落雷によりふるさと運動公園の照明灯、キュービクル関係に2千万を超える損害を受けましたが、早急なる財源措置をさせていただき11月には完全復旧しております。ありがとうございます。

教育行政についても、4分の3半期が終わり、今年の前定しておりました事業、施策については順調に進んでいるものと思っております。

本日の会議におきましては、浦臼町の教育の現状と課題について、前段で説明させていただき、斉藤町長と教育委員との意見交換をさせて頂き教育委員会の考え方、取組について理解を深めさせていただき、教育施策については斉藤町長と足並みをそろえた中で、教育大綱の実現に向けて進めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

それでは、ALTの配置についての経過報告と本年度の新たな教育施策についての進捗状況について説明させていただきます。

説明に当たりましては着席してさせていただきます。

それでは、資料0の1ページをお開き下さい。

教育委員会では、この課題については平成27年度から通年配置についての協議を進めており、本年度方向性を示したいとしておりましたが、12月の教育委員会においてALTの通年配置推進の決定したところです。

内容について、資料0を読み上げます。

ALTの配置について。

浦臼町では、少子高齢化や人口減少、グローバル化や高度情報化などによる社会変化が、人々の予想をはるかに超え、本町が将来にわたって発展していくためには、地域を支える人材の育成を担う教育の役割が大切であり、特にグローバル化が進展する中、子どもたちがふるさと浦臼に誇りや愛着を持ちながら、豊かな国際感覚を備え、具体的に行動できる力を身に着けさせることが重要であります。

更には、本年3月に新学習指導要領の改訂告示がなされ、特に外国語教育の見直しが行われ、中学校の授業は外国語で行うことを基本に短い新聞記事を読む、テレビニュースを見て伝えられるように、小学校では、コミュニケーション能力を身に着けるため、中学年は、外国語活動が35時間増え、高学年では外国語活動から教科による外国語科の70時間に改訂され、小学校3年生以上では、平成32年度までに外国語の授業を現状より35時間増えることとなります。

そういった事から、教育委員会におきましても平成32年度学習指導要領完全実施に向けてALTの通年配置について検討して参りました。

結果、現在は小中学校週1日のALTの配置となっておりますが、新学習指導要領の改訂やグローバル化社会でしっかり活躍できる力の育成のために、叶う事ならば全ての外国語教育に外国語指導助手の配置、身近に外国人と接する機会の提供を図りたいことから、教育委員会では、ALTの通年配置が望ましいとして、推進決定いたしました。

通年配置時期は、出来る事なら平成30年度からが望ましい。雇用形態（JETプログラム活用、業務委託契約、直接契約）や経費、財源確保について、総合的に検討した結果、JETプログラムでは、ALTの日本語力等コミュニケーション能力に不安があること、生活フォローをどこまで出来るのか、職員の関わりなど解決できない部分が多いことから教育委員会といたしましては民間業務委託を採用したいと考えております。

事情ご賢察いただきご配慮よろしくお願いいたします。

補足説明になりますが、必要日数は中学校では年間140時間各学年で英語の授業があります。週4日間ということになります。小学校では、5・6年生が70時間、3・4年生が35時間なので週2日間必要となります。小学校2日、中学校4日の週6日となってしまう、週5日なので足りません。それと、中学校のカリキュラムの都合で5日で英語の授業配分すると考えると、1日ひとつの学校に配分するのではなく、時間を決めて5日の中で小中学校、また余裕があれば幼稚園や社会教育事業に行ける時間があればいいかなとのことで通年配置が必要だとの考えに至っております。

浅岡教育長

勤務時間ですが、土日・国民の休日・その他に有給休暇以外で、長期休業中を休みとするのかについては、検討事項となっています。

経費については、主幹の方で色々調べておりました、JETプログラムでいけば、3年間の契約期間でもろもろの経費を含め5,995千円、そのうち交付税が4,720千円入り、町の持ち出しが、1,275千円となるの計算です。民間であれば500万円程度となり、全額町単独費ですが、過疎ソフトを利用すると70%の充当率なので350万円位が交付税に帰ってくると見込まれます。補助金を使ったと考えますと、JETと民間では、22.3万円位の差しかないのかなと思います。色々な、メリット・デメリットを考えますと民間委託がいいのではないかと教育委員会ではそのような結果になっています。

住居要件についても、本当は住んでいただきたいのですが、時間的に24時間拘束するのはいかなものかという事と、民間という事もあって努力義務でいいのではないかと総合的な判断をしました。

J E Tの配置については、以上でございます。

全部説明してから町長との懇談とさせていただきます。

続きまして資料1の1ページ、2ページにつきましては、浦臼町教育大綱で平成27年度に制定し29年度までの方針ですので、参考という事で添付いたしております。

次に、資料2につきましては、浦臼の教育推進という事で平成28年度から平成30年度までの方針を掲げており本年見直し、追加した部分について示させていただきます。

学校教育の1. 社会に立ち向かって行ける力の育成の中で、①教育課程「主体的・対話的で深い学びの指導」を追加しました。教える教育から、学び考える教育指導方針に変わりました。

②学習指導「乗り入れ授業の実施」「教育支援として保護者への教材費負担の軽減」を追記しました。

④の英語教育については、「ALTの通年配置検討」ということで課題提起して動いております。

⑤のふるさと教育については、本山町とのふるさと交流について検証し新たなスタートをきるための「検証推進」という項目を追記しております。

2. 健やかで、人の優しさ痛みの分かる心の育成では、④有害情報で「校外生活のやくそく活用」を追記しています。

3. 安全・安心な学校では、①学校運営で「CS実現に向けた準備（H30導入体制構築）」を追記しています。

③子供の安全確保で「有害サイトやネットトラブルから身を守る一定のルール等の構築」を追記しています。

特に今説明した項目を追加して今年教育の推進に取り組んできているところです。

次のページ資料3につきましては、平成29年度教育行政執行方針の施策ポイントということで年度当初に教育委員会で作成しまして、活動方針を決めているのですが、4分の3期終わっているので活動の状況をこの場で報告させていただきます。

1. 新規項目で新たな今年取組ですが、1つ目の○「継続取組事業の見直し充実を図る」、2つ目の○「学校教育 学力、体力向上に向けた取組」ということで、今年重点課題でありました地域に開かれた学校づくり（コミュニティ・スクールの取組）に向けては、浦臼町学校運営協議会導入準備委員会設置要領を5月に制定しまして、準備委員会を7月に立ち上げました。委員の理解検討を進め、保護者や地域住民への理解を得られるよう円滑な導入実施に向けた活動を図っております。

学校では、学校運営協議会組織機構図のイメージを作成し、内容の説明・理解度を高めております。

教育委員会におきましては、学校に学校運営協議会を設置することのできる学校管理規則を改定し、学校運営協議会の設置などに関する規則も12月の教育委員会で制定しております。

今まであった学校評議員と評価委員の役割は学校運営協議会に兼ね合わせた形で今回見直しを図っているところでございます。

保護者には、各学校からコミスクの説明会を実施して説明している所です。

地域住民についても本来説明をすべきですが、理解度も高まって特に要望がなかったため説明会は実施せず、CS通信を11月に全戸配布し理解度を高めているところです。

浅岡教育長

次に、学力向上に向けた取組の推進と保護者負担軽減（テキスト保護者負担助成）については、要望通り予算をつけていただきまして小学校でも国語算数のテスト各2回の助成をさせていただいております。

次に、ALTの充実、常時配置及び英語教育の充実（7月末までに方向性決定）という目標であったのですが、若干遅れまして12月の決定となりましたけれども委員会としては、通年配置・民間委託ということで決定いたしました。

次に、幼小中連携事業の充実では、乗り入れ授業で中学校から幼小へ算数・体育ということでしたが、先日中学1年生が小学校へ行きまして、小学5、6年生と音楽の合同授業を実施しました。環境変化に適応できない、いわゆる中1ギャップの解消の努めております。

次に、社会科副読本の第7次改訂については、平成28年度に改訂し平成29年度から活用しております。

次に、みどり幼稚園では、平成29年度閉園に向けた準備、各行事を進めております。

新たな認定こども園ですが、公私連携幼保連携型認定こども園ということで教育委員会との関わりについて教育委員で整理しております。基本的には町長が管理監督者であるので直接関わることはできませんが、基本的には今まで通りの関りを出来ればいいのかなどの思いでいます。幼小中連携事業の参加やALTの派遣、フッ化物洗口についても教育委員会の施策で実施してきているので、声掛けをしたいと思っています。

次に、社会教育では、「ありがたきこと」浦臼町イメージソングの推進について、10月29日に町民芸術鑑賞会で八木のぶおハーモニカコンサートを実施しまして、町民の皆様にも披露することができました。

次に、町民芸術鑑賞ツアーということで、今年はミュージカル「ライオンキング」の鑑賞に行き、参加者30名で大変好評でした。次年度についてもそのまま計画しているところです。

次に、生涯学習では、みどり学園活性のため、登録料の軽減と合同学習の充実ということで、昭和49年から始まりまして、ピーク時には287名いましたが、去年は36名ありました。今回、登録料や郊外型の研修を増やすことによって学園生からも好評を得たところです。今年度の新たな入会者は、7名で今年度は43名で活動してきております。

少年スポーツ振興の推進については、少年体育団体協議会がありましたが、加盟団体が剣道の1団体となったことから解散し直接補助という形に見直しをしております。

有害情報から子供たちを守ることにについてですが、校外活動のきまりに時間の設定等追加検討したのですが、決定までには至らず、保護者とルールを決めて防止するという事にはなりました。今後の課題は、時間まで設定した方がいいのではないかと思います。

老朽化した施設設備の点検整備、又は廃棄ということで、B&Gのスポーツ機器をイメージしていましたが、これについては見直しを図っております。

次に、浦臼の歴史・文化の情報発信についてですが、今年は、ゆかりの人々の紹介ということで開催させていただきましたが、本年度の入館者は、1,114名ということで昨年の半分、去年は2,050人という数字となっています。

自然、文化資源の発見、発信については、チャシの跡地サイン設置、地権者の確認同意ということで掲げていましたが、観光化しチャシの維持管理が出来るのかという事、耕作地を通ることから地権者の理解を得られるのは難しいという事から、作業が遅れております。

以上、こういったところでございます。

次のページ、2の継続項目につきましては、今までの中身を継続していくということで掲げさせていただいております。

若干補足説明いたしますと、①の就学援助制度では、入学準備金の前年度支給について、先日見直しを図りまして、規則の制定をし、入学予定児童に準備金を出せるような形に変更しております。

①の文化、芸術鑑賞、文化講演会の実施につきましては、小学校では文化庁の補助でマレーと雨姫、中学校は北海道巡回小劇場助成事業で落語を実施することができました。

3の今後の実施に向けた課題・取組では、教育施設の整備計画見直しということで、B&Gトレーニング機器の点検見直しを図るということで予算をつけていただきました。更に、次年度に向けて新たな機器の導入を現在検討している所でございます。

武田次長	せっかくの機会ですので、教育委員の方々、町長の方から、何か議題、ご意見はございませんか。
斉藤町長	A L Tで授業時間が70時間とか35時間とか増えるとのことですが、これによってどの教科が減るのですか？
浅岡教育長	授業時数が、小学校では980時間なのですが最終的には1,015時間になります。純増です。それで時数の確保については、色々な考え方があって長期休業中の日数を削って捻出するか、小学校は週5時間が2日あるので週1時間中学校と同じように6時間授業を6日にすると35時間は取れます。
斉藤町長	そのような工夫をするということですね。
浅岡教育長	弊害として、子どもたちの生徒会活動の時間や、職員会議の時間が無くなるとか、クラブ活動の時間が取りづらくなるという事は言われていますが、文科省で指導要領を決めた事なので。
斉藤町長	指導要領を作るときに意見等は聞き入れられなかったのか。時数を増やすのが子どものためとの考えだったのか。ニュースで札幌の学校が冬休みに入ったと言っていたのでいやに早いなと思っていたのだが、こうゆうことなのか？休みを早く始めて期間を短くして時数を確保するという。
浅岡教育長	教育課程の編成で、夏休み冬休み何日以内となっているのでその辺だと思います。うちの学校も来年から小学校で35時間にしてくださいとのやり取りは進めているのですが、なかなかうまく取り入れができません。来年から道徳が教科化になっているので、その準備と合わせると35時間増やすのは難しいという事でした。間に合わないというのが本音のようです。それで、今のところは、前倒しで示された15時間をやって行って、31年度には35時間増で取り組んでほしいと話を進めております。
斉藤町長	来年は15時間プラスで今年は何？
浅岡教育長	今年、5・6年生は元々35時間なので30年度は50時間になりますし、3・4年生は10時間くらいやっているの15時間増えます。
斉藤町長	最終的には、35時間を70時間にするということですね。来年は15時間の増で32年度には70時間にしなければいけないということ？
浅岡教育長	そうです。学校は15時間増で組んでくると思います。
斉藤町長	その時間と、A L Tの通年雇用との関係は、何か変わりますか？
浅岡教育長	小学校で完全実施すると210時間となります。3、4年生で各35時間、5、6年生で各70時間。来年度は、それが半分無いこととなりますが、今から入れても授業以外でも参加してもらえばいいし、中学校では、全授業に入ってもらえばほとんど埋まります。今来てもらっているのは、授業に3時間、打ち合わせに1時間、給食に1時間で1日5時間くらいのペースで使っています。空き時間には教材の研究準備をすることになっています。
斉藤町長	暇をもてあますということにはならないのですか。
浅岡教育長	後は使い方なので、うまく活用してもらおうしかありません。既に、うちレベルの学校では1校に通年配置されています。
斉藤町長	J E Tの会社は、この辺ではどこにあるのですか？滝川市？札幌市？
浅岡教育長	国際交流事業ということで事務局は、東京にあります。J E Tプログラムという事業に申し込んでそこから人材を派遣してもらうので、どのレベルの人が来るか確約がされません。
斉藤町長	先日の議会でも話になりましたが、変な人が来たらどうするのか？面接をして、いい人であれば3年契約をするとか、そういった流れが普通だと思うが。

浅岡教育長	面接は、こちらでやるのではなく、JETで実施してそこから配置されるので。大学卒業程度で日本の語学力は問われません。
齊藤町長	うちの町で、日本語を話せる人を希望するというのは出来るのですか？
浅岡教育長	それは、出来ません。条件提示をこちらからすることができないのです。
上嶋主幹	出身地が英語圏との要望をすることはできますが、基本的にJETプログラムの要件自体に日本語の語学力はないですし、英語の指導力という項目もありません。とりあえず、外国から人を呼び、活用方法として、国際交流、ALT、スポーツ交流の3本が柱となってJETプログラムとなっています。
齊藤町長	日本に来る外国人のためのプログラムみたいですね。小中学生の為のものと、ちょっと違うみたいですね。それで、いいの？
浅岡教育長	国際交流の為に学校に入って、子どもたちに国際感覚を身に付けさせる、ネイティブスピーカーというか生の外国語を聞きなれるという、授業を主体的にやる人ではなくてあくまでも主たる先生がいて、先生を補助してもらうというレベルの人です。
上嶋主幹	ですので、JETプログラムではなくて、日本語能力や、英語指導力を一定条件クリアした民間委託が望ましいと教育委員会の結論ではあります。 同じALTを呼ぶにしてもJETではなく民間委託の方を選択したいとの考えです。
齊藤町長	民間委託の方が、町で希望する人が来る可能性が高いのですか？
浅岡教育長	委託の出し方ですが、日本語語学力がなんぼ以上とか条件を付けることは可能です。日本語ができない人であれば、生活するうえでの補助としてうちの職員が対応しなければならぬですが、こなせない、それだけのスタッフが居ないというのも課題です。ですので、民間委託を選択させてもらいたい。民間だと外国人が少なくてコミュニケーションがとれないところだと日本語の話せる人が来てくれるし、その人の生活トラブルも会社がやってくれます。
齊藤町長	この辺では、滝川市に業者があるのですか？
上嶋主幹	滝川市にもありますし、札幌にもあるので入札のような形で公募します。
浅岡教育長	北は、民間が多くて、南はJETが多いと聞いています。空知管内は、JETが多いそうです。 滝川市や砂川市のように外国人がたくさんいるのであれば自分たちで情報交換しながら活動していけるが、単独で浦臼にきて日本語力がないと本人もこまるし、一番困るのは小学校だと思います。子供たちは、日本語力がなくてもあまり関係ないようですが。
齊藤町長	教育委員会としては、財源についても少し心配したのですが、そのような人をあてていただきたいとのお願いです。 財源はともかく、決まれば地域に住んでもらわなくてもとの話をしていたが、通えるところからくるようになるのか？例えば、札幌の会社に入札で落ちてお願いすることになると、この雪の中、通ってこれるのか？その辺は、どのように考えていますか？
浅岡教育長	今のところ、努力義務で住んでいただきたいと、仕様には入れようと思っています。 住むとなれば、うちで住宅を確保して、斡旋しないといけないと考えています。
齊藤町長	住まないで、できないのではないかと思うのですが、どうなの？
上嶋主幹	実際、今のALTは滝川市の業者に委託していますが、江別から通ってきています。今は、週1回なので出来る事なのかもしれませんが、これが週5日になると拠点も滝川市なのか、砂川市なのか分かりませんがもっと近くなるかもしれません。
齊藤町長	本人の希望のところにアパートを借りるということ？

上嶋主幹	そうですね。出来れば住んでもらいたいというのが委員会みんなの共通認識ですが、そこを縛れるかどうかというのはちょっと・・・。
斉藤町長	浦臼に住むとなると車がないとだめだし、そこまで町の予算でみないのか？車代とか。江別から通うにしても公共交通が無いわけだから、車を持っていないとだめだと思うが。
浅岡教育長	委託なので、うちが条件提示して、その条件に合う人を会社が用意してくれるので、その辺はうちで心配しなくても大丈夫です。
斉藤町長	他の町も決める時は、入札でやっているのか？一本釣りのような事は出来ないのか。
上嶋主幹	大きな町ですと、地元で外国人が住まわれていれば、直接雇用ということで役場の臨時職員のように雇うこともあります。今回、教育委員会で検討したのは、直接雇用の類で斡旋はしてくれるが、契約は外国人本人と町との直接契約のJETか、民間委託での契約か二つだったのですが、委員会としては、JETはどんな人がくるかわからないといったことを総合的に勘案すると民間委託の方がいいのではないかと結論に達しました。 委託になると公募をかけますので、今の浦臼町の仕組みで行きますと、より安い業者ということになります。先日の、静川議員の意見で安かろう悪かろうではだめだという意見だったと思いますが。
斉藤町長	人材を選べないというのがね。
浅岡教育長	他の町の契約書を見ても、日本語検定5級という表示があったり、住む所も会社が用意することであって、うちが住むことを必須条件にしてあとは、自前だと言えば経費分の金額を上乗せする等の読みがでてきます。条件が増えれば、委託料の金額も多くなってくる。 民間は、努力義務であれば自分でアパート探して住めばいいし、あとは運転できる人を配置すればいい。その逆に、そんな人材居ないので来ませんというのもあると思います。一番いいのは、住んでいる外国人を見つけて直接雇用するのがいい。
斉藤町長	今は、外国から沢山の人が来ているので小さいうちから外国語を学ぶのは必須だと思う。
浅岡教育長	最初は民間委託から始めて、ノウハウを得て、そのまま民間委託でいくかもしれないし、これならJETも経験してみるかと思えば変えてみるかもしれないし、スタートからJETは厳しいかなと思います。
平松職務代理	JETはJETなりに魅力があると思いますが、当初としてはハードルが高すぎるということなので要望としては、今後職員採用においては、教育力ばかりではなくて語学力のある方を採用にあたってのプラスアルファにさせていただけると何かとこれからの社会には、役に立つのかなと思いますので、ぜひご検討いただきたいと思います。
斉藤町長	そうですね。観光施設には、どこに行っても中国語を喋れる人が居たりとかしていますし、英語よりアジア系の方が多いかなと思います。
浅岡教育長	北竜町では、インタラックという会社と契約していて、契約金額が500万きっているそうです。ただ、住んでもらえる人との条件をつけて住んでもらっていて、通年雇用ですが、長期休業中は出勤しないとなっているようです。
斉藤町長	先生方も長期休業中はほとんど出てきていないので、それはいいのではないかと先生方は、長期休業中、学校に出てきているのですか？部活動等は別として。
美濃委員	お正月3日が日過ぎたらほとんど出てきています。出勤時間は、8時とかではないみたいですが、授業の準備等しているみたいです。
浅岡教育長	働き方改革といって、長期休業中に休校日を決めたくても先生方がばらばらに予定を組んでいるので簡単に決められないという悩みがある。札幌は、4、5日は休校日にして休ませることを考えている。

斉藤町長	部活の指導者は、学校の先生でないというのが何年前にあって、柔道でケガしたとかあったが、学校外の人を学校に入れて先生の負担を減らすというのはかなり前からやっているが今度は、事務系でそれを入れる言っている。テストの採点をやったりとか、昨日の新聞ではそのようにして、先生方のひと月の残業を80時間以下にすると言っていたが、人材が地方にいるのか？
上嶋主幹	昔は、事務員とは別に事務補みたいな人を中学校に配置していたことがあります。先生方の教材準備を手伝ったり、プリントの準備やテストの採点をしたり、雑用係ですね。
斉藤町長	先生方の負担は凄く大きいのかな。
美濃委員	娘の話ですと、英語の先生が気さくに日常の話しをしてくれて、その話を聞くと、テストの準備等をして家に帰ってら11時だったと話していたそうです。岩見沢等から通っている先生も多いのでかなりな負担はあると思います。
斉藤町長	授業の準備や、評価等沢山あるのでしょうか。
浅岡教育長	正直うちの中学校は、その域ではないと思います。1学年週4時間で12時間の授業で済むわけですから、空き時間が教材準備とか、小学校で行くと担任が1日6時間びっしり子供たちと接しているので、ほとんど準備の時間がない。
斉藤町長	そんなに遅くまで職員室の電気ついてないよね。体育館の電気はついてるけどね。
浅岡教育長	中学校で3クラスあるような学校であれば、専科で相当きついと思いますが。
斉藤町長	子ども達も大変だろうけど、小さいうちから英語に慣れるというのは大切なんでしょうね。
大石委員	自分たちの時代だと、外国人がいたら一步引く感じでしたが、娘も奈井江の保育園で英語に触れているらしくて、英語の先生がいると自分から寄っていくんですね。小学校の娘もそうですね。そういう面では、早い方がいいのかなと思います。
平松職務代理	浦臼以外の、札幌等首都圏に行くとき当たり前のように外国人がいますよね。浦臼だけですよね。
斉藤町長	首都圏に行くときコンビニ、居酒屋の店員さんも外国人が多いですね。アジア系ですね。日本が、外国の労働力がなくて成り立っていかなくなっているのだと思います。
	ALTの契約は、単年契約それとも3年契約？変な人なら単年がいいが、いい人なら3年位はいてほしい。その辺が、難しい。
浅岡教育長	契約上は、単年でいくが、債務負担行為をとって複数年の方が、人間的には確保しやすいですね。
斉藤町長	奈井江はどこでやっているの？
浅岡教育長	JETです。JETから始めたところは、JETしか考えていないんですね。不渡りという情報はあまり入って来ていないですが、実際はトラブルを起こしてるはずですね。
	色々な、施策に予算をつけていただいて感謝しています。あとは、ALTのお金が大きいですし、来年に向けても予算査定で検定試験の町負担もなんとか付きそうな感じみたいです。
上嶋主幹	一時査定では、理解していただいたと思います。まだ、2次3次査定があるのでわかりませんが。
浅岡教育長	試験料の町負担は、他の町では結構成功しているのですが。うちは、一気に漢字、英語、数学検定の3種類予算要望させてもらっています。
斉藤町長	全員受けないと思うけど。これ、希望者だけだよな。



浅岡教育長	<p>予算としては、全員分みているのですが。</p> <p>自分で作成していたのですが、大綱の見直しは、どうしたらいいかと思っています。3年経過して今年度で終わりなんです。大綱そのまま引き継いでいきたいなと思っていますが。</p>
斉藤町長	<p>教育委員会で決めていいですよ。何か変えるところがあるなら変えてもらっていいです。</p>
浅岡教育長	<p>達成している所もあるのですが、基本的に大綱を変えるものでもないと思うので、一応首長の任期とか、教育委員の入れ代わりとかあるので3年ぐらいがいいのではとこのことで作成しています。最大でも4年以上設定することはないです。</p>
斉藤町長	<p>それについては、お任せします。</p> <p>教育委員さんの任期中の研修とかは、どうなってるのですか？昔は、ありましたよね。</p>
上嶋主幹	<p>現状の4年周期で道内の研修は現在もあります。今回、来年度の予算査定で教育長の任期が3年になったので、3年との提案をしたのですが、役場全体的に研修の見直ししている最中なので、とりあえず来年度はなしでとの事で、今のところ4年周期でやってくださいと言われて、全体の中で検討しましょうとのことになりました。</p> <p>何年か前は、自費で本山町に行っています。</p>
斉藤町長	<p>道内も自費で行っているの？</p>
上嶋主幹	<p>いいえ、公費で予算付けていただいています。</p>
浅岡教育長	<p>宿泊付けていただいて、職員が公用車を運転して行っています。</p>
斉藤町長	<p>それは、危ないね。</p>
浅岡教育長	<p>公共機関で行くと、1泊では行けないんです。</p>
斉藤町長	<p>全体の見直しといっても、町でお願いしている委員さんはそんなにいない。農業委員、教育委員、民生委員は違うし、交通関係もないし、意外に少ない。立ち位置が違って、一律になるのは難しいところはあります。昔は、教育委員さんも道外に行っていたと思います。</p> <p>本山の町長さん変わったけれど、学校同士の姉妹協定はどうなるのか？</p>
浅岡教育長	<p>進めてもらうように話はしていますが、あまり動きが見えてきていません。姉妹校で校長同士が調印してしまえばと思っていますが。</p>
斉藤町長	<p>出来れば、この会議は年2回位やったらどうですか？執行方針の説明は、最初にやって、今のタイミングで評価をやったらいいのではないか。</p>
浅岡教育長	<p>基本、委員さんには春一番でやっているのですが、やる場所は2回やっていますね。</p>
武田次長	<p>皆さんの方からは、もう特に無いようですので、また何かありましたら、このような機会をもうけさせていただきますので、何かありましたら教育委員会の方に委員さんからお話をいただきたいと思っています。それでは、本日お忙しい中お集まりいただきました。これをもちまして、第1回総合教育会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>